

科目ナンバー	PSY-3-007-sn			科目名	心理学研究法I			
教員名	松下 弓月			開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2	
概要	<p>「こころ」は誰もがその存在を感じることができます。でも、そのことを誰かに伝えるのは簡単ではありません。例えば、わたしの「悲しさ」と誰かの「悲しさ」のどこが同じで、何が違うか、どうやったら確かめることができるでしょうか。</p> <p>心理学とは、このように形がなく目に見えない私たちの「こころ」というものをどのように捉え理解するかに取り組んできた学問です。そのため様々な研究方法が考え出されてきました。</p> <p>この授業ではそうした心理学の研究手法のなかでも、質的研究法というものについて学びます。「質」とは、「こころ」を数字ではなく、言葉を使って理解する方法です。数字にすることでことばれ落ちてしまふ、私たちの「こころ」の豊かさや、まだ私たちの知らない新たな側面を発見しようとする方法です。そのため、私たちが普段何気なく使っている言葉を、厳密かつ正確に扱うために様々な工夫を凝らしています。</p> <p>この授業では、こうした質的研究を知識として理解することはもちろん、物事を理解する方法として自分でも使えるようになることを目指していきます。そのためグループでの活動を通して、一通りの研究プロセスを辿っていきます。</p> <p>自分なりの疑問に何らかの答えを見つけること。それは簡単ではなく、ときには苦しさもあるかもしれません。ですが、自ら立てた問いに答えを見つけた時の手応えには、格別の面白さもあります。この授業がそうした醍醐味を少しでも味わう機会となればと思っています。</p>							
到達目標	<ul style="list-style-type: none">・質的研究の基本的な流れを理解すること・研究の一連のプロセス(問いを見つけ、研究計画を立て、データの収集と分析を行い、その結果を文章にまとめること)を実行できるようになること							
「共愛12の力」との対応								
識見			自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識			自己を理解する力	○	伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度			自己を抑制する力		協働する力	○	構想し、実行する力	○
グローバル・マインド			主体性	○	関係を構築する力		実践的スキル	○
教授法及び課題のフィードバック方法	<p>講義に加えて、実際に研究に取り組む実習を中心に行います。</p> <p>講義ではスライドと配布資料を用いて基本的な知識の解説、また体験的ワークを行います。実習では、3～4人のグループに分かれて協力しながら、自分の関心に従って問いを立てるところから、データを集めて分析しその結果を発表するところまで行います。そのため授業外でもグループで作業ややりとりをする必要があります。</p> <p>また、授業ではコメントシートに毎回学んだ内容を振り返り、疑問点や感想などを記入していただきます。コメントシートへの記載された内容は、毎回授業冒頭で取り上げ質問への回答や説明を行います。</p> <p>。Moodleを資料の配布、レポートの提出などに利用します。</p>							
アクティブラーニング	○		サービ斯拉ーニング				課題解決型学修	○
受講条件 前提科目	担当教官による選抜が行われます。原則として来年度心理人間文化コースの心理のゼミを希望している2年生のみが履修できます(ただし、3年生以上で心理のゼミに所属し、以前この科目を履修していない学生も履修可能です)。							
	また、実習中心の授業のため、履修人数を制限する可能性があります。							
アセスメントポリシー及び評価方法	<ul style="list-style-type: none">・評価方法:授業への参加度(30%)+発表(20%)+レポート(50%)・授業への参加度:授業への参加姿勢とコメントシートの内容や質によって、授業に対する取り組みを評価する。・レポート:授業の節目ごとにレポートを提出していただきます。その内容や質によって評価します。・発表:研究実習では、各グループごとに発表を行っていただき、その内容や質によって評価します。							
教材	<ul style="list-style-type: none">・教科書の指定は行いません。授業ごとに資料の配布を行います。・その他の資料については授業中に適宜紹介します。・インターネットに接続可能な機器(スマートフォン、PC、Mac、タブレットなど)・岩壁茂(2010)はじめて学ぶ臨床心理学の質的研究 方法とプロセス 岩崎学術出版社・伊藤哲司・能智正博・田中共子(編著)(2005)動きながら識る、関わりながら考えるー心理学における質的研究の実践 ナカニシヤ出版・能智正博・川野健治(編)(2007)はじめての質的研究法ー臨床・社会編 東京書籍							

	・能智正博(2011)質的研究法 東京大学出版会 ・質的心理学研究vol. 1 ～17 新曜社		
参考図書	グラハム・R. ギブズ(2017)質的データの分析 (SAGE質的研究キット) 新曜社 4788515512 プシュカラ・プラサド(2018)質的研究のための理論入門ーポスト実証主義の諸系譜 ナカニシ ヤ出版 4779512239 波平 恵美子(2016)質的研究 Step by Step 第2版: すぐれた論文作成をめざして 医学書院 4260028 324 能智正博(編)(2018)質的心理学辞典 新曜社 4788516012		

内容・スケジュール			
1週目			
授業学修内容	第1回 インTRODクシヨン:心理学における研究		
授業外学修内容	レジュメや配布資料を用いて授業内容について振り返ること。	時間数	1
2週目			
授業学修内容	第2回 研究法(1)質的研究法とは何か		
授業外学修内容	レジュメや配布資料を用いて授業内容について振り返ること。	時間数	1
3週目			
授業学修内容	第3回 研究法(2)論文を読む		
授業外学修内容	レジュメや配布資料を読み授業の内容について復習する。	時間数	5
4週目			
授業学修内容	第4回 研究法(3)データを得る		
授業外学修内容	レジュメや配布資料を読み授業の内容について復習する。グループで行う研究のテーマについて考える。	時間数	2
5週目			
授業学修内容	第5回 研究法(4)語りを聞く インタビュー実習のレポート課題を作成する(レポート課題1)。		
授業外学修内容	レジュメや配布資料を読み授業の内容について復習する。グループで行う研究のテーマについて考える。	時間数	5
6週目			
授業学修内容	第6回 研究実習(1)研究テーマを考える		
授業外学修内容	レジュメや配布資料を読み授業の内容について復習する。グループで行うインタビュー調査の準備を行う。	時間数	2
7週目			
授業学修内容	第7回 研究実習(2)研究をデザインする		
授業外学修内容	レジュメや配布資料を読み授業の内容について復習する。グループで行うインタビュー調査の準備を行う。	時間数	2
8週目			
授業学修内容	第8回 研究実習(3)インタビューする		
授業外学修内容	インタビューを実施し、録音したデータから逐語録を作成する。	時間数	6
9週目			
授業学修内容	第9回 研究実習(4)分析する(ラベルづけ1)		
授業外学修内容	レジュメや配布資料を読み授業の内容について復習する。グループでインタビューデータの逐語録にラベルをつけ、提出する(レポート課題2)	時間数	5
10週目			
授業学修内容	第10回 研究実習(5)分析する(ラベルづけ2)		
授業外学修内容	レジュメや配布資料を読み授業の内容について復習する。グループでインタビューデータの逐語録にラベルをつけ、提出する。	時間数	5
11週目			
授業学修内容	第11回 研究実習(6)分析する(まとめる)		
授業外学修内	レジュメや配布資料を読み授業の内容について復習する。グループで、グルー	時間数	5

容	プ編成の作業を進める。		
12週目			
授業学修内容	第12回 研究実習(7)分析する(わかりやすくする)		
授業外学修内容	レジュメや配布資料を読み授業の内容について復習する。グループで、図解化の作業を進める。	時間数	5
13週目			
授業学修内容	第13回 研究実習(8)わかったことをまとめる		
授業外学修内容	レジュメや配布資料を読み授業の内容について復習する。グループで、発表の準備を行う。	時間数	5
14週目			
授業学修内容	第14回 研究発表(1)発表に備える		
授業外学修内容	授業内容について復習する。発表をもとに、グループで最終レポートを執筆する。	時間数	5
15週目			
授業学修内容	第15回 研究発表(2)わかったことを伝える		
授業外学修内容	授業内容について復習する。発表をもとに、グループで最終レポートを執筆する。	時間数	6
上記の授業外学修時間の合計		60	
その他に必要な自習時間		30	

Number	PSY-3-007-sn	Subject	Research Methods in Psychology I		
Name	松下 弓月 (Matsushita Yuzuki)	Year and Semester	First semester for 2020	Credits	2
Course outline	<p>We can feel the presence of “Kokoro”, our mind. But it is not easy to tell how we can feel it to someone. For example, how can we make sure that what's different between your sadness and my sadness?</p> <p>Psychology is an academic field that has been working on how to capture and understand our mind and various research methods have been invented. Qualitative psychology is a way to understand "Kokoro" by words rather than numbers. It is a way to discover the richness of our "mind" which might be difficult to capture with numbers and the new aspect that we do not know yet. For that reason, qualitative psychology devised various ways to treat the words more precisely and accurately.</p> <p>In this class, we try to acquire the research methods of qualitative psychology as well as to understand such qualitative research as knowledge. Therefore, we will follow a series of research process through group activities.</p> <p>To find some answer to your own doubt is not easy, and sometimes you may experience suffer. However, there are also exceptional fun when we find answers to the questions of your own. I hope this class will be an opportunity to experience such a real pleasure even a little.</p>				